

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年生徒を対象に5月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 表現技法や漢字など、正しく理解し活用をする力が身に付いている。
- 目的に沿って、根拠を明確にしながら書くことができている。
- 事象や行為、心情を表す語句に注意をして読むことに課題が見られる。

【数 学】

- 累積度数の意味を理解し、求めることができている。
- 文字式を用いて整数の性質を説明する力が身に付いている。
- 三角形の合同を基にして、図形の証明をすることに課題が見られる。

【英 語】

- 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことの要点を捉えることができている。
- 文と文との関係を正確に読み取る力が身に付いている。
- 日常的な話題や社会的な話題について、書いたり話したりすることに課題が見られる。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 人の役に立つ人間になりたいと思っている生徒の割合が高い。
- 学習の中でICT機器を用いることは勉強の役に立つと感じている生徒の割合が高い。
- 計画性をもった家庭学習や主体的な学習の実施に課題が見られる。
- 授業で学んだことをほかの学習で生かしたり、自分が努力すべきことを決めて取り組んだりすることに課題が見られる。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 7限目の帯時間を活用した、振り返り単元テストや習熟度に合わせた基礎・発展学習、学習に関する教育相談の実施
- ・ 教科ごとに活用力を問う問題を検討し、定期考査にて出題

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 教科の特性に応じ、ICT機器を効果的に利活用した言語活動の推進
- ・ 基礎的な知識・技能を基にした思考力・判断力・表現力を育てる授業改善の推進

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ アナログとデジタルの利点を生かす学び合い活動
- ・ 主体的・対話的で深い学びにつながる単元計画の実施、及び授業改善の推進

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ スコラ手帳を活用した自己管理能力の育成、及び家庭学習の質や量の向上を促す支援
- ・ 既習内容が実生活や更なる未知の課題解決にどのように活用できるか、思考したり交流したりする場の設定